

2025年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：租税法特論	
担当教員名：大沼宏	
<p>授業科目概要：この講義は、所得税の基本枠組みを、講義と演習を基に理解できるようになることを大枠としている。特にこの講義では、個人および個人企業などにおける課税所得をいかに計算し、その所得をもとに、どれだけ税金を支払うかを計算するための理論と計算技術を学ぶ。所得税は、原則として個人の所得に対して課される租税であり、法人の所得に課される法人税と並んで直接税の代表的な存在である。所得税の税収は、我が国の予算において、租税及び印紙収入の32.5%に当たり、消費税の35.3%とともに大きな割合を占めている重要な租税である(令和3年度)。実際、令和2年分の申告所得税の確定申告人員が2,249万人に上ることからみても、国民生活に最も密着し、国民の関心がとりわけ高い租税である。本講義ではこの所得税について、しっかりと学習し、税法学習の柱を築くことを目標とする。</p>	
<p>履修上の留意事項：計算については、トレーニングが重要となるため、講義中の指示に従い各自反復学習して欲しい。また、全国経理教育協会所得税法能力検定の積極的な受験により、計算能力等の向上に努めてもらいたい。また、本講義は、会計科目の応用領域に位置づけられ、且つ経営財務の素養も学生に求める。税理士志望の学生諸氏が、所得税法における主要論点を修士論文において取り上げる場合に貢献できるような講義を行いたいと考えている。</p>	
教科書・参考書（参考文献）	
書名：：特になし。担当教員のパワーポイント資料を基に講義を行う。 著者／編者： 出版社： 出版年：	書名：『演習 所得税法』（令和7年版） 著者／編者：公益社団法人 全国経理教育協会編 出版社：清文社 出版年：2025年
書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：	書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：
書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：	書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：

<p>評価方法及び判定基準：</p> <p>期末試験(プレゼンテーション)、確認レポート、講義中の発言を踏まえて評価する。講義中の発言も評価に反映させる。</p> <p>よって評点は、「期末試験(プレゼンテーション)」、「確認レポート」、「講義中の発言」について、順に80%、15%、5%のウェイト(詳細は未定)を付けて決定する。</p>
<p>授業目標及び進め方：</p> <p>授業目標については、個人企業における所得税計算を理解できるように、主として個人企業の利益計算と所得計算が理解できるようになることと考えている。到達目標としては、全国経理教育協会が毎年実施する税務会計能力検定試験の所得税法 2 級合格程度に達することである。</p> <p>進め方としては、担当教員である大沼が講義を行い、適宜質問とそれに対する応答を行って講義内容の理解を深める。その回の講義終了時点で確認レポートを求めることもあるので、その時は次回の講義で当該レポートの回答内容を基に理解度を確認する。また履修者の利便性を考慮し、講義の80%はオンラインで実施し、残りの講義と期末に行う到達度確認考査は対面で実施する。</p> <p>この講義最終日に実施する期末到達度確認考査は、各自テーマを決めて、プレゼンテーションを行い、担当教員である大沼が履修者の評価を決定する。</p>

第 1 回	<p>テーマ：所得の意義と所得税の特色</p> <p>内 容：所得税額計算の概要について理解することをもってオリエンテーションとする。</p> <p>教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『演習 所得税法』(令和7年版)を利用</p>
第 2 回	<p>テーマ：納税義務と納税の方法</p> <p>内 容：所得の概念について引き続き学ぶとともに、納税の義務とは何かを検討する。</p> <p>教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『演習 所得税法』(令和7年版)を利用</p>
第 3 回	<p>テーマ： 納税義務と所得の種類 導入</p> <p>内 容：納税地について、租税条約、所得の種類(序論)を説明する。</p> <p>教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として『演習 所得税法』(令和7年版)を利用</p>
第 4 回	<p>テーマ：課税標準の計算</p> <p>内 容：各種所得の内容について学ぶ。</p> <p>教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『演習 所得税法』(令和7年版)を利用</p>
第 5 回	<p>テーマ：課税標準の計算 1</p> <p>内 容：各種所得の課税標準について学ぶとともに、各種所得の復習も併せて行う。</p>

	教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『演習 所得税法』（令和7年版）を利用
第 6 回	<p>テーマ：課税標準の計算 2</p> <p>内 容：各種所得の課税標準について学ぶとともに、各種所得の課税標準の計算 演習も併せて行う。</p> <p>教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『演習 所得税法』（令和7年版）を利用</p>
第 7 回	<p>テーマ：課税標準の計算 3</p> <p>内 容：課税標準の計算に関する重要なポイントである収入金額と必要経費について学ぶ。</p> <p>教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として 『演習 所得税法』（令和7年版）を利用</p>
第 8 回	<p>テーマ：課税標準の計算 4</p> <p>内 容：課税標準の計算に関する重要なポイントである収入金額と必要経費について、特に必要経費について学ぶ。</p> <p>教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『演習 所得税法』（令和7年版）を利用</p>
第 9 回	<p>テーマ：所得控除 1</p> <p>内 容：所得控除について学ぶ。</p> <p>教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『演習 所得税法』（令和7年版）を利用</p>
第10回	<p>テーマ：所得控除 2、税額計算、税額控除</p> <p>内 容：損益通算、純損失・雑損失の繰越控除を含む税額計算、税額控除、及び所得控除の方法について学ぶ。</p> <p>教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『演習 所得税法』（令和7年版）を利用。</p>
第11回	<p>テーマ：所得控除 3、源泉徴収 1</p> <p>内 容：所得控除、源泉徴収について学ぶ。</p> <p>教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『演習 所得税法』（令和7年版）を利用</p>
第12回	<p>テーマ：所得控除 4、源泉徴収 2</p> <p>内 容：所得控除の順序、税額控除、源泉徴収について学ぶ。</p> <p>教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『演習 所得税法』（令和7年版）を利用</p>
第13回	<p>テーマ：申告、納付及び還付 更正及び決定 1</p> <p>内 容：申告、納付及び還付(特に青色申告者)、更正及び決定、源泉徴収について学ぶ。</p>

	教科書／参考書: 教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『演習 所得税法』(令和7年版)を利用
第14回	テーマ: 申告、納付及び還付 更正及び決定 2 内 容: 源泉徴収、申告納税方式、予定申告、確定申告、確定申告および確定申告に必要な書類、特に還付申告について学ぶ。 教科書／参考書: 教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『演習 所得税法』(令和7年版)を利用
第15回	テーマ: 雑則及び罰則、復興特別所得税、震災特例法 内 容: 支払調書、罰則および細則、復興特別所得税、震災特例法について学ぶ。 教科書／参考書: 教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『演習 所得税法』(令和7年版)を利用